

ホームページにアクセスしてください。
本学の情報をたくさん盛り込んでおります。
アクセスをお待ちしております。

<http://www.aitech.ac.jp/>

愛知工業大学同窓会 支部結成のために必要とされる手続き

1. 支部結成発起人(氏名、卒業年、学科)
2. 支部同窓生氏名(氏名、卒業年、連絡先等)
3. 支部則原案(見本を作成していますので、参考してください)
4. 支部本部となる連絡場所…連絡先、住所、電話番号記入
5. 正式に支部として承認されましたら、支部則に基づき支部長、副支部長、会計その他の役員を本部に届ける

※職場支部結成については、10名以上の同窓生が在籍していること
申込先

〒470-0392 豊田市八草町八千草1247
愛知工業大学同窓会事務局
TEL.0565-43-1032 (FAX共通)

愛知工業大学 **みずわか** 同窓会機関誌

発行日——2003.12.16
編 集——瑞若編集委員会
編集責任者——伊藤 雅
発行責任者——飯吉 僚
発 行——愛知工業大学同窓会
〒470-0392 豊田市八草町八千草1247
Tel・Fax 0565-43-1032
印 刷——株式会社 大東社
〒494-0008 尾西市東五城字備前25
Tel 0586-62-1168 Fax 0586-62-1751

MIZU WAKA

Vol.36
瑞若会会報

特集 1
第17回「瑞若会」——1
定期総会開催

特集 2
平成16年度
学科再編——5

- CONTENTS
- 9 オープンキャンパス
 - 10 入試インフォメーション
 - 11 就職インフォメーション
 - 12 キャンパスニュース
 - 17 レッツ・トライ!
 - 21 がんばるOB
 - 23 ホットボイス
 - 25 クラブニュース
 - 27 人事のお知らせ
 - 28 事務局便り

第17回「瑞若会定期総会」開催

7月6日(日)名古屋国際ホテル2階にて、第17回「瑞若会」定期総会が開催されました。梅雨時にもかかわらず当日は好天に恵まれ、合計154名の参加者でにぎわいました。



新会長あいさつ 太田 修(41E)

瑞若会々員の皆様には、各界にて益々活躍のこととお慶び申し上げます。

さて、私こと今般の瑞若会第17回定期総会

において関係各位のご推挙をいただき、瑞若会々長を仰せつかりました。誠に非力の身に重き責務でございますが、瑞若会および愛知工業大学のさらなる発展のため、微力ながら誠意を傾けて取り組む所存でございます。

瑞若会も昭和37年の発足以来40年の歴史を重ねて拡大発展してまいりました。会員数も約4万5千名を突破し、地方支部7支部と中国分会、職場支部は26支部を数え組織としての体裁も整ってきております。今後は歴代会長には及ばぬことではありますが、会員が参加しやすく居心地の良い各種事業の推進や、少子化による厳しい母校環境改善の一助となる運営を模索していきたいと思っております。どうか同窓生の皆様の深いご理解ご支援をお願い申し上げます。



1年間の活動報告がなされた支部長会議

プログラム

- 13:30～14:30 支部長会議
- 14:30～15:30 理事会
- 15:30～16:30 学科別同窓会
- 16:30～16:45 総会
- 16:45～18:30 懇親会

瑞若会創立40周年を記念して盛大に開かれました

2003年は瑞若会が誕生して40周年の節目にあたります。そこで今回は定期総会に加えて支部長会議、理事会、学科別同窓会と懇親会も同時に開催し、例年より大規模な行事を実施。東海地区だけでなく全国から多くの同窓生が参加しました。

講演や技術発表、HP開設など各支部独自の活動も目を引きました

第17回定期総会に先がけ、第5回支部長会議が開催されました。会議は大葉前会長のあいさつに続き、この1年間の活動を中心に意見交換が行われました。

各支部とも役員会、懇親会などの集まりが年2回程行われています。関東支部や静岡支部では、卒業生による技術発表や専門家の講演会を同時に開催するなど、支部活動を充実させるための工夫が披露されました。また、関東支部からはHPを開設、岐阜県支部からはHPの開設準備中との報告があり、支部活動も新しい段階に入ってきました。

共通の学問を軸にした年代を超えた同窓会活動です

会場に用意された小会議室では学科別同窓会を開催。各学科ともに10～40名の同窓生が集まり、活動状況や今後の予定などについて話し合いました。また、事業報告、決算報告といった理事会での決定についても説明がなされ、資料に目を通しながら熱心にメモをとる参加者の姿もありました。



電気工学科同窓会は和やかな雰囲気で行進



今後の活動について活発に意見交換する応用化学科同窓会

全員が一堂に会し和やかな雰囲気の中で締めくくり

本日のメインの行事である第17回定期総会は「老松・若竹の間」を使った大広間で行われ、全参加者を前に後藤学長からあいさつがありました。また、新しく就任した太田同窓会長も「皆さまのご協力で組織を活性化していきたい」と瑞若会のさらなる発展に向けての決意を表明しました。

定期総会終了後はそのまま懇親会に入り、会員同士がグラス片手にざっくばらんに親睦を深めました。



各会議の議事を報告



全参加者が集まった総会



乾杯後、思い出話に花が咲いた懇親会

COMMENT

参加者コメント



同窓会が開催されるという知らせを受け、2人で誘い合わせて来ました。同年代の参加者が少ないようで、ちょっと残念です。先輩方との交流を深めるには良い機会かも知れません。恩師の山田先生を囲むH5Cのお二人



三重支部の方からご連絡をいただき、総会の開催を知りました。今回の参加者では私が最年少のようです。若い同窓生の関心をひくためには、ネットなどを有効活用して活動内容の魅力をさらに伝えていってほしいかでしょう。西克斗志さん(H11J)

同じ研究室だった友人とは時折会いますが、それ以外の同窓生とはなかなか会うきっかけがありません。自分たちだけで企画するのも限界がありますので、このような機会を大切にしていきたいです。

愛知工業専門学校 助教授 近藤信彦さん(H4D)



今回が初めての参加です。単に集まるだけでなく、情報交換をはじめとした意義のある場なので、多くの人に参加してほしいと思います。もっと広く告知を行い、2年に1回ぐらいのペースで開催しても良いように思います。

(株)アストン 安藤大介さん(H4D)

支部同窓会から〜

近くで懐かしい面々が集まる、
支部の同窓会に参加しませんか。

全国7地域の支部長・事務局長から最近の活動状況についてご報告いただきました。各支部ともに定期的な会合で親睦を深め、多くの仲間に参加を呼びかけています。同窓会は旧友との再会や新しい出会いのチャンスです。皆さんも交流の輪を広げてみてはいかがでしょうか。

関東支部

支部長 高原 光立 (43M)

活動内容 東京、神奈川、千葉、埼玉、群馬、栃木、山梨をはじめ東日本の600名〜700名の卒業生有志が登録しています。世話役(幹事役)約15名、顧問4名、支部長と副支部長3名、事務局長1名が中心メンバーです。モットーは毎年1回必ず支部主催の会合を持つこと。2003年4月には杉野丞教授の講演会や技術交流の一環としての発表会を開催。このほか、懇親会や準備会、忘年会などで、旧交を温めつつ情報交換をしています。卒業生の世代差をま



とめていくためにホームページを開設しました。
連絡先
●高原光立(支部長・43M)宛
携帯電話.090-3102-5417
E-mail:m_takahara@muc.co.jp
関東支部ホームページ
<http://www12.ocn.ne.jp/~ait/>
関東支部E-mail:ait@guitar.ocn.ne.jp
●細江龍三(事務局長・41K)宛
〒141-0031 東京都品川区西五反田2-26-5
イトウビル内
(株)フォーカス技術サービス
TEL.03-5487-0611、FAX.03-5487-0613
携帯電話.090-8700-3690
E-mail:hosoe@focus-ts.com

関西支部

支部長 杉浦 亘 (44K)

活動内容 昭和63年10月の設立準備をはじめ、翌年3月に創立し、15年の間活動を続けてきました。支部長を中心に、同窓生の有志が毎月第三土曜日夕方から集まっています。異業種間の交流を行って価値観の違いなどを認め合い、新しい仲間との出会いを提供できる場になればと思っています。



ります。そこで組織を小集団活動的に再編したいと考えていますので、ぜひ、リーダー役を買って出ただけのご先輩を求めています。
連絡先
●杉浦 亘(支部長・44K)宛
〒532-0011 大阪市淀川区西中島3-15-10
新大阪プリンスビル4F (株)シンプル内
TEL.06-6305-1791、FAX.06-6302-8452
E-mail:sugiura@kk-simple.co.jp
関西支部定期同窓会
日時:毎月第三土曜日 午後6時〜9時半頃
場所:大阪市淀川区西中島3-14-11
第二新居レジャービル4F スナック「ファミリー」
TEL.06-6308-1799
費用:5000円(飲み放題・食べ放題・歌い放題)

現在、抱えている問題は支部のエリアが広すぎる。近畿二府四県が管轄担当地区ですが、皆が気軽に参加するにはやや距離があ

静岡支部

支部長 大林 猛 (41E)

活動内容 発足以来15年、この間3年に1回のペースで計5回の支部総会を開催しました。支部規約や会員名簿を作成し、会員交流、講演会、会員による専門分野の仕事・趣味の発表会、他支部との交流なども実施しています。静岡県に勤務または在住の卒業生の方は、下記の支部事務局までご一報ください。



連絡先
●竹田昌治(事務局長・42E)宛
〒435-0052 浜松市天王町142-1
TEL.053-421-4066、FAX.053-421-9753

岐阜支部

支部長 久富 政俊 (45K)

活動内容 初めは10数名だった役員も現在は25名に増え、設立7年目になります。岐阜県出身の卒業生は3000名以上にもなります。一人でも多くの方に参加していただけるよう、親しみやすい支部を目指していきます。皆さんからのご連絡をお待ちしています。



連絡先
●中西保幸(事務局長・51E)宛
〒502-0906 岐阜市池ノ上町4-18-1
一松電気工事(株)内
TEL.058-233-7665、FAX.058-233-6867

北陸支部

支部長 橘 照泰 (43M)

活動内容 3年に1回の総会と年に2回の幹事会が主な活動で、新入会員の顔合わせや事務報告なども同時に行っています。50代が中心ですが、若い方々にも来ていただければと思います。毎年600人程の卒業生にご案内のハガキをお送りしていますが、届いていないという方は下記の電話番号へご連絡ください。

連絡先
●安島隆夫(事務局長・46C)宛
〒920-0022 金沢市北安江3-11-15(自宅)
TEL.076-221-3967

中国・四国支部

支部長 大川 博基 (49K)

活動内容 平成9年7月に発足して6年が経ち、以来、欠かすことなく新春と夏に2回の懇親会を開催しています。開催場所を持ち回りとし、そのうち1回は宿泊懇親会としています。毎回、地元の新しい参加者があり、新鮮で楽しい交流を継続しています。今後も支部事務局までご連絡の上、気軽に参加してください。



連絡先
●後神公一(事務局長・48K)宛
〒700-0064 岡山市大安寺南町1-9-10
TEL.086-254-6695

三重支部

支部長 畦地 耕司 (37E)

活動内容 支部総会を中心に年1回のペースで、有志による忘年会、懇親会を開いています。会では自己紹介や自社PR、商品の当たるイベントなどが好評で、特に今年は会員全員にハガキを送り、支部活動の参加を呼びかけました。今後は6、7月をめぐりに「新入会員を励ます会」なども企画していきたいと思えます。



連絡先
●国安院章良(事務局長・55A)宛
〒512-8064 四日市市伊坂町1693-2
(株)リフォックス内
TEL.0593-63-7070、FAX.0593-63-3892
E-mail:mizuwaka@refocs.co.jp

コラム

同窓会によせて

関西支部支部長 杉浦 亘

同窓会は、企業最優先で毎日を過ごしている人にとって、唯一利害関係の絡まない無垢な自分に戻り、交友できる場所ではないかと思えます。会社・仕事中心の価値観だけではものの考え方や視点が偏りがちです。そんな偏った考えや視点に気付かせてくれたり、目から鱗の新たな発見ができるのが、異業種の集まりである同窓会です。

よりフレキシブルで専門的な教育へ 平成16年度学科再編

教育研究の学際化、広域化と先端技術の専門化に 대응するため、従来の2学部10学科から2学部6学科12専攻へと学科の再編を行います。先進的で時代のニーズに対応した新体制にどうぞご期待ください。

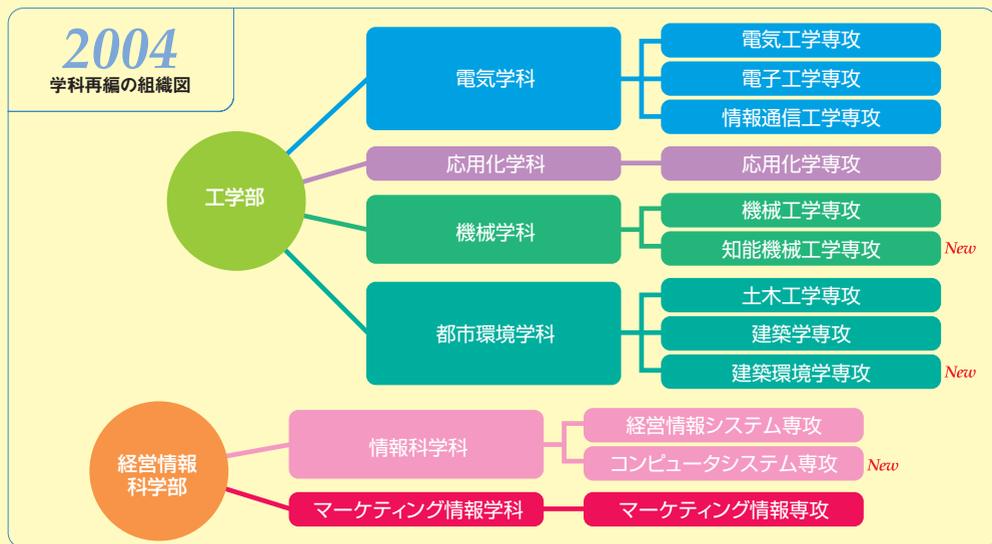


入試部長
現電気工学科 小嶋 憲三教授

現在、モノづくりのあらゆる現場において広い知識と高い専門性が求められています。そこで今回の再編では学生自身の選択の幅を広げ、社会のニーズに早く対応できる柔軟なシステムを作りました。

従来と大きく異なる点は、各専攻に入学後、1・2年次にベースとなる基礎科目を学び、3年次以降に各々が興味を持った分野を専攻として選ぶことです。したがって進路変更が容易にでき、入学前の漠然とした印象ではなく、基礎を身につけた上で明確になった興味対象を在学中に選択して研究できるようになっています。同時に、他専攻の科目も卒業単位に組み込むことができるため、一人ひとりの意思がより尊重されるようになりました。

体制の上では、これまで独立していた学科が統合することにより、設備の共有や、専攻間の知の交流といったメリットもあります。これによって多様な学習と専門性の高い研究が可能となります。また、今年度からは「建築環境学」「知能機械工学」「コンピュータシステム」という新たな専攻を設け、世の中の流れに合わせた教育分野を進めていきます。



工学部・電気学科

電気工学専攻 依田 正之教授



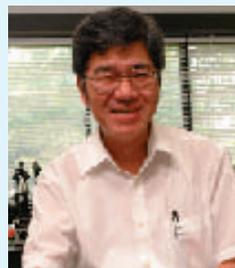
電気工学専攻の学びのキーワードは「新エネルギー」「超電導」「パワーエレクトロニクス」です。その学習内容は、自然エネルギーや燃料電池などの新エネルギーによる発電技術と電気エネルギーの発生・輸送・分配技術、電気エネルギー利用のためのパワーエレクトロニクス技術、そして超電導応用技術などです。また、発電と電力供給のための新材料技術、電気エネルギーと地球環境に関する環境技術など幅広い分野を学びます。

電子工学専攻 堀田 厚生教授



電子工学専攻では大規模集積回路やレーザーなどの「電子デバイス」、ハードウェアとソフトウェアを統合した「コンピュータとネットワーク」、高精度の計測器や自動制御などの「システムと制御」の三分野を柱とします。講義や実験、演習、卒業研究を通してエレクトロニクスの基礎から応用まで段階を追って学び、実践的な技術力を身につけることで、幅広い業種において活躍できる、ハードにもソフトにも強いエンジニアを目指します。

情報通信工学専攻 森 正和教授



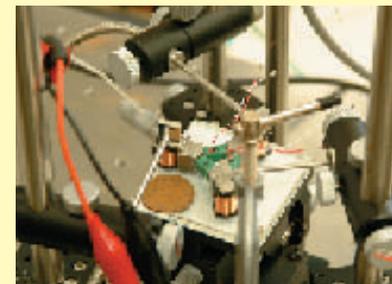
電気・電子技術と情報通信技術との有機的関連を重視しながら、「情報処理システム」と「通信システム」、「コンピュータネットワーク」をメインにした講義と実習・実験を展開します。キーボードをたたくだけでなく電気・電子の基礎からコンピュータやネットワークを学び、将来何十年経っても情報社会を担っていけるエンジニアを育てます。また、情報通信工学の基礎となる数学や物理学の科目もカバーしています。



電気自動車を利用した集風実験装置。風力発電で走る車を目指します



RFスタッキング装置。超伝導材料の作成に使用します



10円玉大程のミニチュアロボット計測装置

機械工学専攻 林 二一教授

「物づくり」の基礎教科を大切にしつつ、技術革新を踏まえた教育の充実を図っていきます。主な学習内容は1) デジタルエンジニアリング即ちコンピュータ援用によるCAD・CAM・CAEの技術、2) 有限なエネルギーを効率よく変換する地球に優しい機器の開発、3) 工学のトータルエンジニアリングとしての機械設計です。また、人間形成の道場として、創造性、協調性があり、対話のできる心豊かな技術者の育成を目指します。



知能機械工学専攻 中原 崇文教授

製品開発の現場においては、機械技術者にもシステムや電気、制御などの付加価値的な知識が今後ますます必要とされていきます。そこで、機械構造や強度、材料、設計などの機械工学の36科目をしっかりと習得した上に、電子回路設計、メカトロニクスのハード面やアルゴリズム、制御などのソフト面から成り立つ知能部分を14科目で選択的に学習します。また、教授陣を電気、電子、機械の多分野から集めていることも特徴の一つです。



土木工学専攻 正木 和明教授

これまでの都市建設・社会基盤整備は環境に大きな負荷をかけながら行われてきました。この反省から、本専攻では、自然と共生可能な災害に強い都市空間の創生を目指した技術者を育成します。専攻独自の試みとしてJABEE(日本技術者教育認定機構)を取得し、国際的に評価される高いレベルでの教育を実施します。また、1年次には長野県白馬村で測量合宿を行い、上級生の指導を受けながら課題に取り組むことでコミュニケーション能力を高めます。



建築学専攻 山田 和夫教授

建築学専攻の教育方針は、従来の建築学科と基本的に同じであり、建築設計・計画、建築歴史・意匠、建築環境・設備、建築構造・材料など、建築に不可欠な「芸術性」「利便性」および「安全性」について総合的に学びます。本専攻では建築設計科目以外にも多く自習・演習科目を積極的に設けるとともに、インターンシップ制度を利用した企業実習を通して実践能力を養い、幅広い視野を有した建築家・建築技術者を育成します。



建築環境学専攻 比嘉 俊太郎教授

人類は科学技術の発展と産業・流通の近代化等により、目覚ましい成果を享受してきました。一方、人類の活動の増大は、必然的に負の側面である環境問題を生じさせています。大気汚染、水質汚濁、騒音・振動、地盤沈下、廃棄物等に関する環境問題の解決は、新しい技術の開発や社会システムの改革、さらに私たちの意識の改革を必要とします。この専攻では「環境」を包括的な観点から修得し、企業実習などを通して実践的な知識を身につけます。



応用化学専攻 中島 剛教授

最先端のテーマを取り入れつつ基本に重点を置いたカリキュラムで、世の中の流れに柔軟に対応できる人材を育成します。



1年生では化学の基礎を固め、2年生では共通専門科目を履修し、3年生では環境化学コース、材料化学コース、機能化学コースの3コースに分かれて学びます。4年生からはエネルギー材料化学、セラミックス化学、環境・分析化学、有機反応化学、高分子材料化学の各研究室で卒業研究に取り組みます。



電池の容量や性能を測定するバキュームグローブボックス装置

経営情報システム専攻 池田 良夫教授

従来の経営工学を発展的に継承するのが新学科の「経営情報システム専攻」となります。「経営管理系」「情報システム系」「数理科学系」の科目から総合的に経営情報システムを学び、情報処理の基礎と活用を中心に重点を置いています。また、理系的な視点で経営管理の知識を深め、各種産業に対応できる経営システムの情報化、統合化、最適化を推進できる人材を育てます。他専攻開講の専門科目は30単位まで卒業要件に数えることができます。



コンピュータシステム専攻 黒河 富夫教授

経営工学科時代から情報教育には力を注いできましたが、今回のコンピュータシステム専攻の新設はその流れに沿ったものでもあります。この専攻ではコンピュータ・ソフトウェア中心の教育研究をすべくカリキュラムを用意しています。インターネットの普及と共にソフトウェア技術のニーズは高まるばかりですが、その分野で質の高い技術者を育成して参ります。経営工学科の先輩方々、4年後の当専攻卒業生をよろしく願いいたします。



マーケティング情報専攻 長谷川 博教授

マーケティングないしビジネスの原理、マーケティング・システム、そしてロジスティクス・システムさらにはサプライチェーン・システムなどに精通する人材の育成を目指します。情報技術とマーケティング・テクニックの融合により市場への提供物(goods & services)を売れる商品にする人材は、マーケティング情報分析と市場戦略の巧拙が企業の命運を左右するビジネスの世界で、ますます重用されるようになっていきます。



OPEN CAMPUS

オープンキャンパス

愛工大をもっと知ろう!

イベント盛りだくさんのオープンキャンパス

平成15年8月5日(火)、学内を会場にオープンキャンパスが開催されました。この催しは高校生の皆さんに愛工大での研究や設備を体験していただくもので、毎年夏と秋に開かれています。今回は全体説明会や各研究室の学科専攻別デモンストラシヨンのほか、AITプラザ前の特設スタジオでZIP-FMの公開生放送も行われました。また、プラザ内の資料配布コーナーや個別相談コーナーは愛工大に関心を持つ受験生や保護者の方々に賑わいました。

コンクリートを型に流し込み、オリジナルのアート作品に挑戦



環境に優しい電力システムを身近な道具を使って体験



特設ステージが置かれたAITプラザ前の広場



コンピュータシステム専攻のデモでは、画像処理やプログラミングの入門を体験



教授・学生と身近に接しながら研究内容の説明に耳をかたむける



ZIP-FMの公開生放送では、ミュージックナビゲーターのデイルさんと特別ゲストのコブクロさんが出演

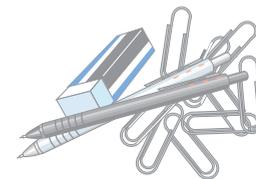


各種資料の配布や会場の案内などを行ったAITプラザ前の受付



総合工学研究会はエコランカーの試乗を実施

入試インフォメーション



18歳人口の減少と、長引く厳しい経済状況の中、大学進学者の志望は国立大学や自宅から通学できる地元大学へと集まっています。また、資格取得重視の専門学校へと進路変更する進学希望者も出ています。大学が受験生を選ぶのではなく、受験生が大学を選ぶ現状において、大学は入試改革だけでは生き残ることはできず、評価もされない時代です。各大学は生き残りをかけて、入試改革から大学改革へと動き始めています。

愛知工業大学においても大学改革は始まっており、平成16年には教育研究のさらなる充実と一層の推進・高度化を進めます。さらに専門教育の基礎分野の充実を図り、学生が多様な学習機会を得られるよう授業カリキュラム改定を基に、2学部10学科から2学部6学科12専攻へと学科再編が行われます。学内においても学生のやる気に応えるための教育環境として「AITプラザ」「学生支援センター」「みらい工房」「12号館ゼミ」等、学内整備も進んでいます。

入学補助金について(報告)

愛知工業大学の学風を継承するため、卒業生の子女、兄弟姉妹、在学生の兄弟姉妹の入学を推奨するための入学援助金制度(入学金の半額を援助)について今年度の援助申請者数を報告します。

- 卒業生の子女 20名
- 卒業生の兄弟姉妹 6名
- 在学生の兄弟姉妹 15名

平成15年度の入学者数

学部	学科	フレックス			イブニング		
		男	女	合計	男	女	合計
工学部	電気工学科	179	4	183	5	0	5
	電子工学科	177	7	184	2	0	2
	応用化学科	142	27	169	1	1	2
	機械工学科	190	6	196	6	0	6
	土木工学科	137	1	138	0	0	0
	建築学科	134	26	160	2	0	2
	建築工学科	87	19	106	0	0	0
	情報通信工学科	131	7	138	1	0	1
小計	1177	97	1274	17	1	18	
経営情報科学部	経営情報学科	133	14	147	1	0	1
	マーケティング情報学科	85	10	95	0	0	0
	小計	218	24	242	1	0	1
総合計		1395	121	1516	18	1	19

単位:人

平成16年度入試日程

入試制度	出願期間	試験日	試験会場	合格発表	試験科目
前期日程一般入試	1/7~1/21	1/30・31 2/1	※1	2/7	[I]英・数・理(物・化より1科目) [II]英・数 [III]英・数・国(国・国より1科目)
前期日程奨学生入試		1/31			[I]英・数・理(物・化より1科目) [II]英・数・国 [III]英・数・国(国・国より1科目)
中期日程一般入試	2/3~2/12	2/18	※2		[I]英・数・理(物・化より1科目) [II]英・数 [III]英・数・国(国・国より1科目)
後期日程一般入試	3/1~3/8	3/15	本学	3/19	[I]数・英・理(英・物・化より1科目) [II]英・数 [III]英・数・国(国・国より1科目)
センター利用入試一次	1/20~1/29	—	—	2/7	[I]数・理(国・地・公・外より1科目) [II]外・数(国・理・地・公より1科目) [III]外(数・国より1科目)・(理・地・公より1科目)
センター利用入試二次	2/25~3/10	—	—	3/19	[I]数(理・国・地・公・外より2科目) [II]外・数(国・理・地・公より2科目)
一般推薦	10/30~11/7	11/16	本学	11/22	書類審査・小論文・面接
女子学生推薦		11/15			
総合推薦		10/23~10/29			

※1 (1/30)本学・名古屋・岐阜・津・浜松・静岡・金沢・東京・松本・大阪・岡山・広島・北九州 (1/31)本学・名古屋・岐阜・津・浜松・静岡・金沢 (2/1)本学
 ※2 本学・岐阜・津・浜松・大阪・富山

全学的な就職支援をしています

就職課では、全学的な就職指導として、就職ガイダンス（講演・パネルディスカッションなど）、就職適性検査、就職模擬試験（一般常識、基礎学力）、就職対策講座（SPI・エントリーシート・面接試験他）などを実施。また、本学支援組織「愛名会」の共催を得て、学内企業研究会および地元企業交流会を開催し、直接企業と接する機会を学生に与え、積極的な就職活動を推し進めています。

学生の能力を活かした就職指導

本学では、就職課による全学的指導と併せて、各学科の就職担当教員による就職指導を行っています。学科別のガイダンス、個人面談を通し学生をバックアップしながら、能力、適性に応じた進路を選択させるように指導しています。就職課と各学科からサポートする就職指導体制により、就職実績は各界から高い評価を得ています。

スピーディーな情報収集

本学にきている求人企業情報を就職課のWebサーバーに蓄積して、イントラネットによる「就職支援システム」を構築しています。このシステムにより、インターネットを使って、学内および自宅から求人企業情報の検索、就職情報会社や各企業のホームページにアクセスすることが可能です。

URL <http://www.aitech.ac.jp/~syusyoku/>

パソコンを利用できる就職資料室

就職課には、学生の就職活動をバックアップするために就職資料室を設置しています。資料室には、5,000社以上の企業ファイルコーナー、本学にきている求人企業検索ができるパソコンコーナー、就職に関する相談や悩みをアドバイスする相談コーナー等を設け、就職活動にあたり必要な情報を得ることができます。

平成15年度 就職支援スケジュール

7月	●第1回就職ガイダンス ●就職模擬試験 ●就職適性検査	11月	●エントリーシート攻略テスト ●面接対策講座 ●第4回就職ガイダンス 4年自由応募内定者
8月	●第2回就職ガイダンス (講演)	12月	●第5回就職ガイダンス OB/OG (パネル) ●就職能力試験 ●エントリー試験 ●自己表現テスト ●就職作文試験
9月	●就職適性検査 フィードバック講演	2月	●面接模擬対策講座 (面接者1名対学生で実施) ●学内企業研究会(愛名会)
10月	●SPI能力模擬対策講座 ●第3回就職ガイダンス (講演)	3月	●地元企業交流会 (四日市、富山、浜松、岐阜) ●学内企業研究会(一般企業)

求人に関する
お問い合わせ先

就職支援センター 就職課
E-mail syusyoku@aitech.ac.jp
Tel 0565-48-4655 Fax 0565-48-6140

学生生活を充実させる新施設や学内外から多くの人が集まったイベントなど、AITにはトピックスが盛り沢山!この一年の主な出来事をダイジェストでお知らせします。

ま るごと体験ワールド

「科学」を楽しくわかりやすく体験

小・中・高校生と保護者の皆さんに「科学」を身近に学んでいただけるイベントとして昨年、大好評を博した「まるごと体験ワールド」。今年も8月2日、3日に開催され、724人が参加しました。複雑な機器や専門的な用語を前に初めはおっかなびっくりだった子どもたちも、実験が進むにつれ目を輝かせ、指導に当たった教員や学生へ質問が飛び出すなど次第に積極的に。「とても面白かった」「次回もぜひ参加したい」といった声が聞かれました。

プログラム

- 燃料電池を作ろう ●パソコン分解講座 ●超音波で試してみよう ●色をかえてみよう ●スターリングエンジンを作ろう ●響の不思議体験 ●川の石と生き物の観察会 ●室内の空気は安全か? ●ロボットに挑戦! ●ゲルマニウムラジオの製作 ●コンピュータプログラム入門



パソコンを分解して内部のしくみを観察



「コンピュータプログラム入門」でドリトル言語を使って操作



実際に矢作川へ訪 大学のフードコート
れて河原の石や水 を初体験!愛和食堂
中の虫・魚を観察 にて

ロボカップ'03

優勝
と稲森君
チームの鈴木君



試合展開を想定して動きを調整

創造力を駆使したロボット対戦

平成15年10月19日にAITプラザ3階の会議室で「ロボカップジュニア・愛工大大会」が開催されました。本学と名古屋科学館、中部科学技術センター、中部経済同友会などが中心となり、小・中学生を対象に、ロボット作りを通して科学の楽しさを学んでもらうために開かれたものです。

競技は2人1組のチームで自作のサッカーロボットによる対戦試合形式。予想される場面に従って独自に設定をした各ロボットの動きにより、戦略性に富んだ試合が繰り広げられました。上位3チームは、来年2月に予定されている東海大会へ出場します。

愛工大祭'03



学生や家族連れで賑わ会場

学生主催の一大イベント

平成15年10月15日～19日まで、第43回愛工大祭が開かれました。「一つ一つの力を集めて大きな感動を生み出そう」という願いが込められた今年のテーマは「花火」。セントラルパークのメイン会場をはじめ、AITプラザ前にもステージと模擬店が登場し、ライブやイベント、各種の展示などで盛り上がりました。

第2回 サイエンス大賞



パネルや製作物によるデモン
ストレーション

審査員の前でプロジェクター
を使って解説

高校生が日頃の研究成果を発表

理科離れが叫ばれている昨今、青少年に科学への興味・関心を喚起することを目的としてエクステンションセンターの主催で「第2回AITサイエンス大賞」が開催されました。高校生を対象として理科・科学クラブあるいは研究課題の成果を発表するもので、東海4県下から17校・合計32件のエントリーがありました。2003年11月8日の発表会では、1号館2210教室を使って研究内容や製作物のプレゼンテーションが行なわれたほか、AITプラザの1階ホールでは各参加校によるパネルも展示。発表後の審査により、自然科学部門では羽島高校の「校内植栽樹木の開芽条件」、ものづくり部門では浜松工業高校の「レスキューロボット隊の開発」が最優秀賞に選ばれました。

学生証が新しくなりました

年度毎に発行するラミネートカードから、在学中を通して利用するICカードに変わりました。



1号館 学生支援センター

1号館エクステンションセンター跡は「学生支援センター」に生まれ変わりました。学習支援・生活相談など、あらゆるQ&Aに答える場として学生のキャンパスライフをサポートします。



相談、憩いの場として新規に開設

12号館



キャンパスのほぼ中心に位置する地下1階、地上4階の12号館

窓から陽光が差し込む 明るい講義室

2階から4階までのフロアは3つの講義室と14のゼミ室を設置。移動式壁面を採用しているため、学生の人数に合わせて広さを調節できます。講義室にはパソコンでの作業を前提としたネットワークコンセントを開設し、各部屋に2台の大型液晶プロジェクターを常備しています。



どの席からも見やすい講義室のプロジェクター



プロジェクターの設置が可能なゼミ室

附属図書館東側に12号館が完成

学生のものづくりを支援する地下1階の「みらい工房」、地上1階は1号館から移転した「エクステンションセンター」と新たに設置された「インターンシップ支援センター」など、学生の自発的な学習と研究をサポートする施設が充実しています。テーブルやソファが置かれインターネットにも接続できるため、読書や休憩、情報収集など活用の幅が広い自由な空間として好評を博しています。



視覚取得やスキルアップなどを支援する
エクステンションセンター



今年度より愛工大の
イメージキャラクター
となった鉄人28号

学生の自由な創作活動を支援「みらい工房」

木工・金工の作業を行うための設備が整い、アート作品や補修パーツなどを自由な発想で創作できる「みらい工房」。全ての学生は使用する前に講習会を受け、「利用登録証」の発行を受けます。講習会は使用する機械類に応じ、初級・中級・上級が用意されています。



講習会では木材や金属加工など、工作機械
を扱うための知識をレクチャー



学生の自主的な学習や創作活動、
情報収集をサポート



使用可能な機械や
学生のスキルを証
明する利用登録証

CLOSE Professor

クロスアッププロフェッサー

インターネットを使った 英語教育を 在学生・卒業生に啓蒙



基礎教育センター／総合教育教室
ローレンス・ケリー助教授(左)
チャールズ・ケリー助教授(右)



正しい発音がPC上で確認できる

ローレンス・ケリー助教授 チャールズ・ケリー助教授のウェブサイト

「ケリー兄弟のインターネット上の英語教材」のURL
<http://www.manythings.org/j/>

「オンラインで使える英語教材」のURL
<http://a4esl.org/j/>

「インターネットTESLジャーナル」のURL
<http://iteslj.org/j/>

実践的な英語が身につくサイト

手軽に海外へ行けるようになり、私たち日本人にますます語学力が必要とされるこの頃。ローレンス・ケリー助教授とチャールズ・ケリー助教授が立ち上げたウェブサイト「ケリー兄弟のインターネット上の英語教材」は、楽しみながら英語力を鍛えられる内容となっています。

単語や文法、ヒヤリングなどを網羅

「誰も、興味を持った事柄についてはさらに知識を得たいと思うはず。そこで、講義の場を離れてもっと英語を身近に感じてもらうためにこのサイトを始めました」と兄のローレンス先生は語ります。計算センターの職員にアドバイスを受けながら1995年に開設。低スペックのパソコンでも早く表示できるよう、テキストを中心にしたシンプルな画面です。

サイトでは○×や穴埋めのクイズ形式で学べるほか、ホテルやホームステイ、レストランなど、様々な場面を想定した単語の習得や発音練習ができるようになっています。また、文法やイディオム、スラングなども紹介。FlashやJavaScriptを使ったページは音声が入ったり、ゲーム感覚で答えを選んでいくなど、ついこのめり込んでしまう面白さです。4480の英単語からランダムで出題される日替わりのページや携帯電話用のページも用意されています。

教員を対象としたコンテンツも

また、「インターネットTESLジャーナル」では英語教員用の教材を掲載。中・高校の教員や医師などからの寄稿をもとに、初歩的な単語から専門用語、ゲーム、ジョーク集などが収録されています。様々な分野の単語を知ることができるほか、英語教育関連のリンクも充実したサイトです。

チャールズ先生は「インターネットを利用すれば、年齢に関係なくいつでも、どこでも勉強ができます。さらに、間違えた問題や不得意な部分を何度でも反復練習できることもメリットです」と、ネットを使った英語教育の意義を説明します。

今後は、「卒業生の皆さんが、自宅で子供と一緒に英語を勉強できるようなサイトを作りたいですね。せっかく英語に興味を持ってサイトを見てもらったので、できれば一生お付き合いください」と、内容の充実に向けて意欲を燃やします。

インターネットの普及により、様々な情報が手軽に入手できるようになりました。今回は独自のウェブサイトを開設し、研究内容に関連した情報を発信している先生をご紹介します。

パソコンと携帯電話の 海外事情と、最先端の 通信技術をサイト上で公開



工学部／情報通信工学科
古橋 秀夫助教授



海外の携帯電話端末を手に語る古橋助教授

古橋助教授のサイト

海外通信マニュアルのURL
<http://aitech.ac.jp/furuhasi/mobile/>

グローバル・モバイル・フォン・クラブのURL
<http://aitech.ac.jp/furuhasi/gmpc/>

海外でいざという時に役立つ知識

未来の情報技術とデバイスの開発、ハード面の技術者養成を活動内容としている古橋助教授は、海外でのパソコンや携帯電話を使った通信についてのサイトを開設しています。パソコンの通信方法をマニュアル化した「海外通信マニュアル」と海外の携帯電話の基礎知識をまとめた「グローバル・モバイル・フォン・クラブ」です。

「海外通信マニュアル」では必要な機器や設定、おすすめのマシン、プロバイダの選び方や国別基本情報などを初心者にもわかりやすく解説しています。また、「グローバル・モバイル・フォン・クラブ」では海外の携帯電話のカatalogや扱い方、購入方法や実際のキャリアをもとにしたデータ通信の説明などを行っています。

企業や個人から反響が続々

サイトを立ち上げたのは今から10年以上も前のこと。当時はパソコン通信が主流でしたが、やや専門的である内容を、一般の人にわかりやすく説明しようと思ったのがきっかけです。時代が移り変わり、通信の主役が携帯電話となってきたため、姉妹サイトとして「グローバル・モバイル・フォン・クラブ」を始めました。「日本はモバイルの技術とインフラが非常に進んでいます。一方でその規格は閉鎖的で日本でしか使えません。ですから多くの方が海外へ出かけたときに戸惑ってしまいます」と現在の状況について話します。

豊富な情報と丁寧な解説が評判となり、雑誌などで紹介されることもしばしば。時折、通信業者やコンテンツ業者から問い合わせもあるそうです。また、海外に勤務中の愛工大OBから相談を受けることもあります。「サイトへも質問が寄せられますが、基本的には掲示板に書き込んでいただいています。そうすれば閲覧者間で解決策を教えあったり、多数の人が情報を共有できます」。

今後の展開については「進歩のスピードが早い分野なので、時代に合わせて内容を変えていきたいと思っています。できる限り早めに更新していきたいですね」とのこと。日進月歩の通信業界を世界の視点で捉えた先生のウェブサイトは、これからもますます発展していきそうです。

第3回 愛知工業大学AIT名電サテライトセミナー

「世界遺産を旅してみよう」

名古屋市千種区若水町の愛知工業大学名電高等学校サテライト教室を利用した、AIT名電サテライトセミナーを3日間シリーズで開催しました。第3回目を迎える今回は、建築学科の杉野丞教授による「世界遺産を旅してみよう」。世界遺産をテーマに歴史的建造物を紹介し、各国の歴史と伝統文化を学びながら、日本の仏教建築の源流をアジアからヨーロッパまで探りました。



世界の建造物について歴史的・文化的背景を交えて解説

- 開催日程
- 第1回/7月12日「奈良と京都の世界遺産」
 - 第2回/7月19日「中国の世界遺産」
 - 第3回/7月26日「ヨーロッパの世界遺産」

第15回 愛知工業大学AITオープンセミナー

「たのしい科学」

栄中日文化センターとの共催で、毎回異なるテーマを一般向けに開催するAITオープンセミナー。第15回の「たのしい科学」では、マーケティング情報学科の4名の教員がそれぞれの研究内容を紹介しました。売れ筋商品のメカニズムや、消費者の動きを科学的な切り口で解説する各回の講義に、受講者の皆さんは真剣な表情で聞き入りました。



身近な例をもとに、研究内容をわかりやすく紹介

- 開催日程
- 第1回/6月14日「あいまいの科学」講師:小田哲久教授
 - 第2回/6月21日「缶コーヒーの科学」講師:寺本和幸助教授
 - 第3回/6月28日「思考の科学」講師:野村重信教授
 - 第4回/7月5日「色で売る～カラーマーケティング～」講師:石垣尚男教授

第16回 愛知工業大学AITオープンセミナー

「身近な環境問題」

栄中日文化センターとの共催で、第16回のAITオープンセミナーが行われました。河川、水、都市、室内といった身近な場所での環境問題をテーマにしました。環境を考えたなら河川はどのように変わっていくのか。私たちが使っている水はどこから来て、どこへ行くのか。都市への人口集中によって都市の環境はどのように変わっていくのか。室内の環境を快適に維持するためにはどのような考えが重要であるのか。身近な問題をやさしく解説し、受講者にも好評でした。



第2回「人と水の環境」の講義を熱心に受講

- 開催日程
- 第1回/10月25日「河川の環境」講師:土木工学科 内田臣一助教授
 - 第2回/11月 1日「人と水の環境」講師:土木工学科 内田臣一助教授
 - 第3回/11月15日「都市の環境」講師:建築工学科 神谷清仁助教授
 - 第4回/11月22日「室内の環境」講師:建築工学科 神谷清仁助教授

エクステンション講座を同窓会に開放!

在学生を対象に、各種の資格取得やスキルアップを支援する目的で開催されてきた「エクステンション講座」。2003年からは愛工大の卒業生も受講できるようになりました。この講座は大学の授業とは別に、授業後や長期休暇を利用して行われるもので、実学を中心とした内容となっています。



エクステンション講座のメリット

- ①欠席しても安心 授業を撮影したビデオをセンター内のビデオブースで後日観ることができます。
- ②受験の手続きが楽 資格・検定試験を受験する際、センターでは願書の取寄せや受験料の振込みを行っています。
- ③受講料金が割安 大学が主催しているため、一般の専門学校に比べて受講料金が安く設定されています。

講座名	開講期間	受講料
初級システムアドミニストレーター	パーフェクト 7/7~10/6(15日間)	30,000円
基本情報技術者 パーフェクト	6/24~10/7(29日間)	57,000円
マルチメディア検定3級	5/14~6/25(7日間)	28,000円
CG検定3級	9/30~11/18(8日間)	28,000円
パソコン総合基礎	6/7~7/12(6日間)	12,000円
MOUS試験Word	9/27~11/15(7日間)	14,000円
MOUS試験Excel	11/22~1/17(7日間)	14,000円
MCP(マイクロソフト認定技術者)	8/1~8/12(8日間集中)	67,000円
オラクル・マスター(シルバー)	2/18~3/10(8日間集中)	73,000円
Java SJC	9/2~9/3(2日間集中+インターネット120日)	65,000円
簿記検定3級	9/9~11/4(14日間)	23,000円
TOEIC(前期)	5/12~7/10(18日間、2日は英会話)	29,000円
工業英検3級	9/8~9/11(4日間集中)	24,000円
CAD利用技術者試験2級(前期)	5/16~6/13(7日間)	29,000円
CAD利用技術者1級	8/25~11/15(14日間)	49,000円
宅地建物取引主任者	5/15~10/9(36日間)	63,000円
2級建築士	9/22~12/15(18日間)	25,000円
福祉住環境コーディネーター3級	5/20~6/24(7日間)	38,000円
インテリアコーディネーター	5/21~10/8(21日間)	29,000円
色彩検定2・3級	7/2~10/31(8日間)	38,000円
電気主任技術者第3種	5/30~8/18(12日間)	18,000円
公害防止管理者(水質関係)	5/31~8/2(8日間)	20,000円
危険物取扱者 乙種4類(前期)	10/21~10/30(4日間)	6,000円
危険物取扱者 甲種(前期)	6/18~7/2(5日間)	7,000円
公務員基礎	8/1~1/21(28日間)	50,000円
公務員直前(技術)	3/18~4/3(14日間)	40,000円
公務員直前(教養)	3/18~3/29(9日間)	30,000円
就職活動対策「読み方・書き方・話し方」	11/14~12/16(10日間)	20,000円

エクステンション講座 開講講座の部(2003年度)

資料のご請求
お申し込み
お問い合わせ等は
右記まで

愛知工業大学 エクステンションセンター
〒470-0392 豊田市八草町八千草1247
Tel.0565-48-8121(代表) Fax.0565-43-1335
http://www.aitech.ac.jp/e-center/data/a01_01.html
E-mail e-center @office.aitech.ac.jp

大学と同窓生の交流が各地で活発に!

AITオープンフォーラム

1 第39回 | AITオープンフォーラム

平成15年8月30日(土) 岐阜会場(岐阜グランドホテル)

「人にやさしい住まい・街」

講師●建部謙治(工学部・建築学科・教授)

高齢者や障害者などの立場に立って、「みんなもこんな事で困っている」「住みやすい住宅改造」「これからの住まいづくり、街づくり」などのテーマで講話がありました。



2 第40回 | AITオープンフォーラム

平成15年9月13日(土) 三重会場(四日市都ホテル)

「信(神)頼性工学的生き方」

講師●中川暉夫(経営情報科学部・マーケティング情報学科・教授)

信(神)頼性工学と称して、資料を交えて「信(神)頼性工学とは一丈夫で長持ちするという性質」「物の寿命一全てに寿命がある」「マネー戦略ーアリとキリギリス」などの大変興味深い講話が行われました。



「三重支部総会」開催

平成15年9月13日(土) 三重会場(四日市都ホテル)

同窓会三重支部10人の卒業生と大学同窓会本部から、稲垣慎二副学長をはじめ4人の役員が出席しました。議事に先立ち、稲垣慎二副学長から挨拶、大学の現状報告、畦地耕司支部長の挨拶の後、議長が選出され、総会次第に沿って議案が提議されました。審議の結果、それぞれ承認され、平成15年度から現行役員により三重支部が運営されることとなりました。



3 第41回 | AITオープンフォーラム

平成15年9月20日(土) 関西会場(ホテルサンルート梅田)

「パソコンとうまくつきあうーパソコンと目の疲れー」

講師●石垣尚男(経営情報科学部・マーケティング情報学科・教授)

パソコン画面、キーボード、プリンタ、マウスなどを総称するVDT(Visual Display Terminal)による作業の特徴と疲れについての説明がありました。石垣先生の専門であるスポーツ視覚学、運動生理学から、目の疲れ、肩や首の疲れ、視力の低下について、予防策などを交えて講話がありました。



今年も大学と地域支部同窓会が連携して、各地でAITオープンフォーラムが開かれました。住宅や地震、パソコンなど、生活に密着した身近なテーマから専

門的なテーマまで、担当講師によるわかりやすい講話が繰り広げられました。フォーラムの後は懇親会が行われ、和やかなうちに閉会となりました。

4 第42回 | AITオープンフォーラム

平成15年9月27日(土) 静岡会場(グランドホテル浜松)

「東海・南海巨大地震について」

講師●正木和明(工学部・土木工学科・教授)

「東南海地震」「南海地震」などの地震について、東海地震を想定した特別法「大規模地震対策特別措置法」や「東南海・南海地震対策特別措置法案」などの話も含めて、資料を交えてここ1年間の国・学会の動きについて紹介されました。



5 第43回 | AITオープンフォーラム

平成15年10月4日(土) 中・四国会場(岡山ロイヤルホテル)

「21世紀はインターネットの時代ーIT革命に乗り遅れないために!ー」

講師●近藤高司(経営情報科学部・経営情報学科・教授)

インターネット開発の歴史、アメリカにおけるインターネットの普及、マイクロソフトやインテルなどのインターネットビジネス企業の現状や将来についての話とともに、携帯電話のインターネット対応、iモードやネットバンキングなど、21世紀のIT革命に関して明快な解説がされました。



「中・四国支部総会」開催

平成15年10月4日(土) 中・四国会場(岡山ロイヤルホテル)

同窓会中・四国支部12人の卒業生と大学同窓会本部から、鈴木達夫経営情報科学部長をはじめ6人の役員が出席しました。議事に先立ち、鈴木達夫経営情報科学部長並びに原昭広支部長の挨拶の後、議長が選出され、総会次第に沿って議案が提議されました。審議の結果、それぞれ承認され、平成15年度から、大川博基(49K卒)新支部長のもと、新役員の方々により中・四国支部が運営されることとなりました。



6 第44回 | AITオープンフォーラム

平成15年10月11日(土) 北陸会場(ホテルイン金沢)

「宮本武蔵と技術者」

講師●森 豪(基礎教育センター・総合教育教室・教授)

宮本武蔵について、井上雄彦氏の著書「バガボンド」と司馬遼太郎氏の著書「宮本武蔵」の相違点、並びに外国人にわからない「お通」論についての話がありました。また、吉川英治氏と司馬遼太郎氏における、技能者「宮本武蔵」に対する、技術者「佐々木小次郎」論について、「吉川英治の宮本武蔵一求道者」や「司馬遼太郎の宮本武蔵一リアルスト」などをテーマに、著書からの引用を交えながら、興味がわく講話が行われました。





昭和61年
機械工学科～日本ハムファイターズ入団
元プロ野球選手・現NHKプロ野球解説者

西崎 幸広氏

Yukihiro Nishizaki

ファンを魅了し続ける 球界のエース

入団を前後してメディアの話題をひとりじめ

日本ハム、西武で15年にわたって活躍した西崎投手。流れるような美しい投球フォームは皆さんの記憶にも新しいと思います。

西崎さんは小学3年生から野球を始めて、生地滋賀県の中学、高校野球部を経て愛工大へ。当時の先輩や監督の厳しい指導が記憶に残っているそうです。

就職活動を行っていた西崎さんに転機が訪れたのは、1986年の大会です。対名古屋学院大学戦では愛知大学野球リーグの新記録、奪23三振を達成するほか、合計95三振を奪い愛工大を日本一の座へと導きました。これにより野球界の注目を一身に集め、ドラフト1位で日本ハムに入団します。

プロ入り後は1年目から先発ローテーションに組み込まれ、15勝7敗の好成績で会長特別賞を受賞。2年目は15勝11敗で最多賞のタイトル、3年目は16勝を挙げて日本ハムのエースとして君臨します。その後もオールスター戦に7回出場、7回の開幕投手と活躍が続き、1995年には対西武戦でノーヒットノーランを達成しました。

成功のカギは努力を続ける意志の強さ

もちろん、輝かしい成功の裏には不断の努力がありました。「成功する、しないは本人がどれだけ強い意志を持っているかどうかによると思います」。それぞれの選手が第一級の技術を持つプロの世界において、「昼は皆と同じ練習をした後で、夜にシャドウピッチングなどを独

自に行いました。ですが、こういった努力は誰もがやっていることであって、できない人間は間違いなく消えていきます」と厳しさを語ります。

また、「野球に限らず、成功した人は必ず何か努力をしているはず。なおかつ他人と同じでなく、自分のオリジナリティを出していく必要があります。真似しても意味はないのです」と、抜きん出るための必要条件について言及します。



現役時代の西崎選手

野球界のレベルアップに向けて

2001年に引退後、現在は解説者として活躍中の西崎さん。キャンプをまわりながら「球団ごとに違う練習方法を見極めるようにしています。今、見て得たものはきっと後で役に立つと思います。今後ひょっとしたらコーチの要請があるかもしれませんがね」と笑います。

将来は後進の育成にも関心を持っているとのこと。愛工大の後輩たちへ大きな期待を寄せています。「一人でも多くプロの選手が出てください。そのためのアドバイスは・・・プロにならえ!です。」



Senior's Activity 2003

昭和63年
経営工学科～ロッテオリオンズ入団
元プロ野球選手・現ロッテ球団職員

平井 光親氏

Mitsuchika Hirai

人を支え、 人に支えられながら あゆむプロ野球人生



自由に過ごした学生時代

「高校、大学の野球部ではそれほど苦勞した記憶がないんです。ただやるべきことを続けただけです」と振り返る平井さん。比較的休みの多い愛工大の野球部で、学生生活を存分に楽しみました。高校生の頃から漠然と野球関係の仕事に就きたいという希望はあったものの、まさかプロの選手になるとは思わなかったそうです。

練習と人望がもたらした成功

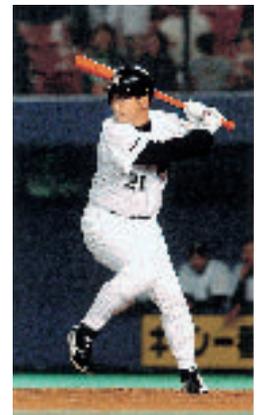
1988年にドラフト6位でロッテへ入団。元々負けず嫌だった平井さんは、厳しい競争の中でプロとしての力を発揮していきます。「一軍でプレーしない限りは絶対に田舎へ帰らない」という決意を胸に、1年目、2年目は体重が激減するほど練習を積み重ねました。「疲れて眠れなくなるほど、グラウンドの中を走りバットを振ったことを憶えています」と当時を振り返ります。

また、活躍の裏には人と人との心の触れ合いもありました。外野フライを捕ってフェンスに激突、即日入院した平井さんに対し、当時の監督、金田正一さんが「自分の目の黒いうちはアイツを使う」と感激したそうです。「プロとして生活を成り立たせることは重要です。しかしそれ以外に自分をかきたてる何かが必要だと思います。私にとってその一つが金田監督に恩返しをしたい、という気持ちでした」。

その成果はやがて3年目の1991年、首位打者、ベストナイン受賞として実を結びます。翌年以降は不動のレギュラーの地位を獲得。以後14

年間にわたってチームの要として活躍しました。

2002年にひざの故障で現役を引退。長男の雄大くんが花束を持って登場した引退セレモニーが印象的でした。「正直言って、完全燃焼した気分ではありません。ひざが治ればまだ負けられないという自信があります。ですから少しだけ心残りです」と現在の心境を語ります。



現役時代の平井選手

球団の一員としてVを目指す

平井さんは今、ロッテの球団職員としてトレードの仕事に従事しています。「二軍で埋められている選手、チームに足りない選手を補強するために、12球団の全ての選手を憶えなければなりません。相当な人数なので大変ですよ」。

また、選手としては現役を退いていますが、ロッテの球団に属しながらチームの優勝を目指しています。「今まで裏方のスタッフが頑張ってくれていたんだな、と改めて認識しました。私も今後は裏方としてチームを支えていきたいと思っています」と新たな目標に向かってチャレンジを始めています。

ホットボイス

HOT VOICE

デンソーテクノ株式会社

吉兼浩貴

平成13年 機械工学科卒

自動車関係の仕事で充実した毎日です

卒業前から興味が有り自動車関係の仕事をしたと思っていました。今はトヨタ自動車でカーエアコンの設計をしています。自動車業界という事もあり、周りに車好きがとても大勢います。もちろん、私もその中の一人です。各メーカーから新しい車が発表されると、週末にチェックに行った人からカタログや資料が回覧され、昼には試乗した感想や内外装のデザイン、シートレイアウト、新機能など様々なことで話が盛り上がります。また、



手入れした愛車に乗って

モーターショーなどのイベントでは、袋に入りきらないほどの資料と共に数百枚のデジカメの画像が話のネタになり、最終的にはベストショットが数人のパソコンの壁紙になっています。

そんな、車にうるさい職場のため、愛車の手入れは欠かせない日々を送っています。

コインランドリーちゃっぷりん

高井 邦夫

昭和58年 建築工学科卒

100店舗経営を目指してがんばっています

「いらっしゃいませ」とお客様に声をかけ、「ありがとうね。本当に助かったわ」という返事が返ってくるのが嬉しくて、この仕事をしています。

建設業の現場監督をしていたとき、雨は困りものでした。「雨が降って嬉しい商売はないやろうか」と思いついたのがコインランドリーでした。今から9年前のこと、こたつ布団や毛布が洗える大きな洗濯機を備えた、コインランドリーちゃっぷりん関店を開店しました。開店資金の大半を銀行融資で賅ったのですが、開店から2年間はほとんど赤字でした。自分で広告チラシを作り、仕事の合間を見つけて一軒一軒配布して回り、何とか経営を軌道に乗せ、今では3店舗を運営しています。

目標は100店舗。そのために無人遠隔管理装置などを研究開発中で、一人で100軒のお店の

管理ができるように様々な技術を学んでいます。元々機械好きなので、趣味の延長、いや趣味そのものかもしれません。機械は当然故障もしますが、修理するのも楽しみの一つです。外国製の機械なので、部品一つとっても海外から取り寄せます。結構手間とお金がかかりますが、大変勉強になります。私がコインランドリーで学んだことは、店舗の経営、宣伝広告、お客様とのコミュニケーション、機械の構造や修理習得、外国の会社との取引など、実に多種多様です。

皆さんもコインランドリーの経営をしてみませんか。洗濯機や乾燥機販売、店舗施工、経営ノウハウまでも提供します。興味のある方は、インターネットの検索ページで「高井邦夫」で探してください。すぐに見つかりますよ。

大型のコインランドリーを備えた店内



店内には手作りの洋菓子がいっぱい

高山でお菓子作り20年 変わらぬ味を提供しています

フランス菓子店 ポン・ヌフ

大森 祥一

昭和48年 経営工学科卒

たった3日間のバリ出張で、大きなカルチャーショックを受け、フランス人的体質に成るべく、ワインを飲みはじめ…、気が付いたらフランス菓子店を開いていました。今から20年前のことです。

パティシエ・ブームなどもあり、人の手による職人仕事のように思われがちですが、素材の進化

や機材のハイテク化への対応、少量多品製造に対する品質管理徹底等、工学的なアプローチの必要な職業でもあります。

高山市にある小さなケーキ店ですが、時代が変わっても価値の変わらぬ味覚を求めて、菓子づくりに取り組みたいと考えています。

菱友計算(株)

田中 健太郎

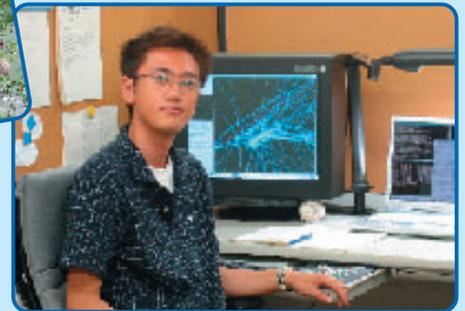
平成10年 機械工学科卒

平成12年 生産システム工学専攻修了

学生時代に学んだことを航空宇宙技術に活用

昔からF1好きだったこともあり、卒業研究で空力などのコンピュータシミュレーション、いわゆるCFD(数値流体力学)に関わって以来、こんな仕事がしたいと思い就職し、入社後2年目からは調布市にある(独)航空宇宙技術研究所で仕事をしています。

現在の仕事は、CFDが航空機の設計に安心して使えるよう、そのツールの信頼性向上への検証作業などを主に行っています。世界でも有数の処理能力を持つスパコンが導入され、航空機の周りの流れを細かく三次元的に計算すること



中庭にカルガモ親子が訪れる仕事場にて

が可能になってきており、大規模モデル作りにも励んでいます。当時の勉強不足を反省しつつ、教科書を見ながら努力の日々です。

将来国産飛行機が開発され、その底辺の一端に少しでも関わっていられたら嬉しいと思います。ところでこの職場、ここ数年中庭にカルガモがやってきており、今年も12羽が誕生しました。カルガモのヒナに癒されながら働いています。

大学祭実行委員会では、10月に行う大学祭に向けて、毎週火・金曜日に委員会を開き、大学祭をどういったものにするかの話し合いをしています。また、愛知学生献血連盟の献血もやっています。

大学祭では、来ていただいた方に「愛工大の大学祭に来て良かった」と思っていたら、1~3年生の総勢数十名の委員が日々がんばっています。

今年度の大学祭は43回目となりましたが、42年間ずっと中断することなく続けてこられた先輩方のおかげで、今年度も大学祭を行うことができました。これからは先輩方が残してくださった伝統に自分たちの個性を加え、前年度を超えるような大学祭を目指していきたいと思っています。

大学祭 実行委員会 委員46名

代表
坪崎充宏



大学内でのピラ配り



週2回行われる委員会



大学祭開催に向け明るい雰囲気委員会のメンバー

管弦楽団 部員25名

団長
佐藤大介

第五クラブハウスでアンサンブルやパート練習、合奏を行っています。部員は初心者が多いですがチームワークがあります。定期演奏会開催や音楽を通して地域の人たちに親しまれるよう、毎年、福祉施設にも慰問演奏に出かけたりしています。オーケストラとしては人数が少ない分、他大学との交流も多く、近隣の大学と共同で合宿や演奏活動を行っています。



演奏会(上)と練習(下)の様子

空手道部 部員16名

主将
小林公紀



稽古に励む部員たち

週4回、鉾徳館1階、東体育館で活動しています。シーズン中には和道会主催の大会や東海地区大学空手道選手権に参加しています。一つでも多く勝ち上がれるよう、各自で目標を持ち、筋力トレーニングをしている部員もいます。特に土曜日にはOB先輩方の指導も加わり、内容の濃い練習になります。シーズンオフには、一人ひとりがさらに上の段や級を目指し練習しています。いつの時期でも厳しい練習の後や休憩時間には上下関係はありつつも、和気あいあいと話したり、冗談を言う一面もあります。今後も、先輩方の伝統と基本を大切に、部員が協力し合い、活動していきたいと思っています。



力を合わせてがんばろうと気合いの入る部員たち

硬式テニス部 部員18名

主将
浜崎雅士



試合に向けて練習するメンバー

週5回、月・火・水・金・土曜日に学校のテニスコートで練習しています。月曜日から金曜日は普通に練習して、土曜日は試合の練習をしています。今年6月に行われた東海学生リーグ戦では、1部2位という結果でした。来年こそは1部優勝を目指してがんばり、王座につきたいと思っています。OBの皆さんも応援のほどよろしくお願いします。



練習後のテニスコートで

退職教員紹介 ●平成15年3月31日付で退職を迎えた先生方のコメントをご紹介します。



土木工学科 教授
深井 俊英

本年3月末までの20年間、愛工大に勤務できたことは、この上ない幸せです。初めは声も小さく返事もままならなかったような新入生も、卒業を迎える頃には立派な技術者となり、社会に巣立っていきます。その姿を見る度に、教育の役割と責任について考えさせられる思いがいたしました。人間性豊かな技術者を育む教育・研究環境と、キャンパスの恵まれた自然環境は素晴らしいものがあります。それは、卒業された方々にとっても忘れ得ぬ思い出であり、力になっていると思います。皆様のご活躍と大学のご発展を心よりお祈りいたします。



基礎教育センター 特任教授
佐田 榮三

平成6年春に着任し、平成15年3月定年退職しました。9年間、基礎教育系自然科学教室に所属し、主として生物工学および環境に関する教育に従事してきました。特に生物に関しては、前・後期にそれぞれ6〜7コマの授業を実施し、年間約千名の単位認定を行いました。工学における生物の重要性は、本来、工学の展開は生物の一員であるヒトを主体に考えるべきであること、また精緻な生命の現象は工学のすべての分野に意義深い示唆を与えることにあると思います。このような本質に則った工学の更なる展開が望まれます。



基礎教育センター 講師
坂井 久司

平成10年3月末に県立高校を定年退職し、4月1日より愛工大名電高校に理科教員(物理)として勤務しました。翌年4月より愛工大教職課程非常勤講師の兼務を命ぜられ、2年後の平成13年4月、晴れて大学の専任として就任しました。本学の専任期間は僅か2年でしたが、教職課程を中心に、中・高等学校の教員を目指す学生の面倒を見てきました。21世紀の教育界を任せられる優秀な若人が何人も巣立ってくれたことを誇りに思います。後進に道を譲ろうと今回退職し、4月からは本学の非常勤講師として勤務しています。

退職教員 (H15年3月31日付)

- 土木工学科 教授 深井 俊英
- 建築工学科 助教授 林 章
- 基礎教育センター 講師 坂井 久司
- 計算センター 講師 皆福 正彦
- 基礎教育センター 特任教授 鶴飼 正和
- 基礎教育センター 特任教授 佐田 榮三

新任教員 (H15年4月1日付)

- 工学部電子工学科 教授 堀 康郎
- 工学部情報通信工学科 教授 石井 直宏
- 工学部機械工学科 講師 内田 敬久 (H7R)
- 経営情報科学部経営情報学科 講師 小橋 勉
- 基礎教育センター 講師 太田 伸幸
- 工学部電気工学科 助手 中野 寛之 (H10E)
- 愛工大名電高校 教諭 今枝 一郎 (H9K)

人事異動 (卒業生関係)

- 新任 教学センター教務課 事務職員 山田 真吾 (H11D)

昇任

- 工学部電子工学科 助教授 津田 紀生 (H4R)
- 工学部電子工学科 講師 岩田 博之 (62R)
- 大学 入試部入試広報課 係長 横井 浩治 (H5K)
- 大学 計算センター 事務主任 岡田 宏行 (H6R)
- 学園 管理部管財課 課長 三宅 覚 (54E)
- 専門学校 教授 森島 茂樹 (60E)
- 専門学校 講師 坂本 貴子 (H8R)

事務局長 飯吉 僚

会報『みずわか』をお届けする時期が参りました。今年は、第17回定期総会が7月6日名古屋国際ホテルにおいて開催され、新会長に太田修氏(41年電気工学科卒)が選出されました。これまで会長をお勤めいただいた大葉正之氏(42年機械工学科卒)に厚くお礼申し上げます。

事務局も、前事務局長山田英介氏(46年応用化学科卒)に代わり、飯吉(46年電子工学科卒)

が事務局長として従来の業務を引き継いでいくことになりました。よろしくお願い申し上げます。同窓会事務局では、ホームページを利用して会員の皆様に最新の活動状況をお知らせしています。ご意見などありましたら、事務局までお知らせください。今後も同窓会活動に、皆様のご支援・ご理解・ご協力をお願い申し上げます。

瑞若会(愛知工業大学同窓会) 役員名簿

名誉会長	後藤 淳			
名誉副会長	後藤 泰之		澤 五郎	
名誉顧問	鷲見 哲雄	伊澤 康司	竹松 英夫	鶴飼 正和
会長	太田 修 (41E)			
会長代理	鈴木 達夫 (41K)			
副会長	石田 雄彦 (41E)	岩永 弘之 (42M)	高原 光立 (43M)	加藤 信夫 (46D)
	松本壮一郎 (46A)	山田 英介 (46C)	近藤 高司 (48K)	大川 博基 (49K)
顧問	有川 満泰 (37E)	加藤 厚生 (37E)	若山 茂 (37E)	大塚 敏雄 (38E)
	細江 文彦 (38E)	高田 良弘 (38R)	小嶋 憲三 (40E)	稲垣 慎二 (40C)
	石川 貴之 (41K)	岩田 和彦 (41K)	大葉 正之 (42M)	
監事	前田 昭徳 (41E)			
事務局次長	飯吉 僚 (46R)			
常任理事	建部 謙治 (48A)	川出 善晴 (49K)	立枕 孝之 (49K)	津田 紀生 (H4R)
	畦地 耕司 (37E)	遠山 鎮雄 (41E)	寺本 和幸 (41E)	竹田 昌治 (42E)
	美頭甲子雄 (45E)	尾島 仁 (46E)	三宅 覚 (54E)	宇田 秀樹 (55E)
	山岸 昭彦 (42R)	河辺 和夫 (43R)	岩田 博之 (62R)	水野 勝教 (63R)
	岡田 宏行 (H6R)	木村 好宏 (39C)	尾之内千夫 (45C)	立木 次郎 (46C)
	榎本 秀樹 (54C)	桜井 隆 (55C)	松本 裕一 (63C)	立川紘一郎 (41M)
	有定 正樹 (42M)	林 二一 (43M)	渡辺 修 (45M)	神戸 誠 (47M)
	水谷 充 (54M)	掛布 毅 (41K)	細江 龍三 (41K)	杉浦 亘 (44K)
	若杉 和彦 (44K)	久富 政俊 (45K)	大元 司 (55K)	伊藤 雅 (59K)
	河合 壹 (42D)	羽柴 喜彦 (43D)	石河 建夫 (44D)	奥村 哲夫 (46D)
	岩月 栄治 (61D)	下田 哲矢 (46A)	光成 仁志 (48A)	山田 和夫 (49A)
	道家 秀男 (51A)	杉野 丞 (52A)	国安院章良 (55A)	細野 耕司 (55B)
	山田 政人 (55B)	横井 良夫 (55B)	木下 毅 (H5J)	下村 光男 (H6J)
理事	落合 鎮康 (41E)	成田 信裕 (41E)	川原 雄一 (42E)	野村 勝美 (42E)
	一柳 勝宏 (43E)	渡部 進 (47E)	藤岡 経丸 (48E)	桜井 伸彦 (56E)
	小島 幹雄 (38R)	澤田 文夫 (45R)	近藤 修司 (50R)	山本 久彦 (50R)
	米永 裕司 (56R)	坂本 常豊 (59R)	伊豫田美津男 (39C)	松尾 光正 (41C)
	安田 伍朗 (42C)	高田 宣章 (44C)	田中 秀夫 (45C)	安島 隆夫 (46C)
	青山 裕充 (49C)	楓 美智彦 (56C)	玉置 徳人 (60C)	佐藤 暢也 (61C)
	太田 勝矢 (H1C)	原田 稔 (42M)	飯田 穂 (45M)	志賀 正直 (45M)
	柏本 増幸 (47M)	古市 裕司 (47M)	中村 明 (48M)	長尾 和彦 (49M)
	北川 一敬 (H2M)	菅 八三郎 (41K)	野崎 克己 (41K)	近藤 恭弘 (42K)
	松廣 尚佳 (43K)	高場 理守 (44K)	松沢 勝義 (44K)	長江 俊一 (46K)
	余語 孝文 (48K)	矢野 敬典 (50K)	佐藤 友幸 (51K)	清二 (53K)
	奥田 好弘 (62K)	中里 高之 (62K)	横井 浩治 (H5K)	福井 猛朗 (47D)
	坪井 利弘 (51D)	近藤 直樹 (60D)	後藤 敏蔵 (62D)	近藤 信彦 (H4D)
	居村 年男 (47A)	竹山 明英 (49A)	星野 正純 (49A)	新貝 貞夫 (51A)
	澤野 美幸 (57A)	山田 耕司 (60A)	加藤 幸範 (55B)	丹羽 利信 (55B)
	長谷川幸治 (55B)	松田 茂久 (55B)	石黒 孝 (H4J)	櫻内 弘幸 (H4J)
	民田 晴也 (H4J)	伊藤 博司 (H5J)	国立 忠秀 (H6J)	濱口 幸久 (H6J)

瑞若会事業報告

本部の会誌

【平成14年度】

- H14.11.8第4回事務局会議開催
- H14.12.19第5回事務局会議開催
- H14.12.19第3回総務常任委員会開催
- H15.2.27第6回事務局会議開催
- H15.3.12第4回総務常任委員会開催

【平成15年度】

- H15.5.30第1回事務局会議開催
- H15.6.13第1回総務常任委員会開催
- H15.7.6第17回「瑞若会」定期総会開催
(名古屋国際ホテル)
- H15.7.25第2回総務常任委員会開催
- H15.7.25第2回事務局会議開催
- H15.10.23第3回総務常任委員会開催
- H15.10.23第3回事務局会議開催

学内事業・行事

【平成14年度】

- H14.12.20「みずわかVol.35」会員へ郵送(35,228名)
- H15.2.6愛知工業大学後援会OB会出席
- H15.3.24平成14年度卒業式「瑞若賞」贈呈・卒業名簿配布

【平成15年度】

- H15.4.5平成15年度入学式で新入生に「START-UP」配布
- H15.4.25第1回「みずわか」編集委員会開催
- H15.10.30第2回「みずわか」編集委員会開催
- H15.10愛工大祭開催への援助

支部事業

【平成14年度】

- H15.1.25地域支部参加(中国・四国支部新年懇親会出席)

【平成15年度】

- H15.4.15職場支部参加「トーエネックAIT同窓会」
- H15.4.20地域支部参加「関東支部春の例会」(品川区民ホール)
- H15.6.28職場支部参加 近藤グループ「愛工会」

その他

【平成14年度】

- H14.11.15愛知県私立大学同窓会連合会事務局長会議出席
- H14.11.23南山大学同窓会50周年記念式典出席
- H15.3.14愛知県私立大学同窓会連合会事務局長会議出席

【平成15年度】

- H15.4同窓会管理システム改新
- H15.6.2私立大学同窓会連合会三役会(キャスルプラザ)
- H15.6.26私立大学同窓会連合会平成15年度総会(キャスルプラザ)
- H15.11.14私立大学同窓会連合会事務局長会議
- H15.8.30岐阜AITオープンフォーラム(岐阜グランドホテル)
- H15.9.13三重県支部総会・AITオープンフォーラム(四日市都ホテル)
- H15.9.20関西AITオープンフォーラム(ホテルザンルート梅田)
- H15.9.27静岡AITオープンフォーラム(グランドホテル浜松)
- H15.10.4中・四国支部総会・AITオープンフォーラム(岡山ロイヤルホテル)
- H15.10.11北陸AITオープンフォーラム(ホテルイン金沢)

会員計報

電気工学科	栗本 正士(S37年卒)	H12.8逝去
	平岩 聚(S38年卒)	H14.9逝去
	高木 祥三(S39年卒)	H14.4逝去
	吉田 桂(S45年卒)	H15.2逝去
(短大)	金森 茂夫(S46年卒)	H14.5逝去
	丹羽 詩郎(S41年卒)	H14.8逝去
	石黒 義規(H4年卒)	H13.3逝去
	真部 孝(S39年卒)	H11.3逝去
電子工学科	秋田 恒夫(S44年卒)	H13.4逝去
	北井 武夫(S48年卒)	
応用化学科	柴田 和信(S48年卒)	H15.3逝去
	藤野 巧吉(S48年卒)	
	滝永 壮(S51年卒)	H15.5逝去
	安部 一郎(H3年卒)	H14.12逝去
機械工学科	佐野 正恒(S52年卒)	H13.9逝去
	伊神 謙三(S44年卒)	H14.2逝去
	和村 賢次(S45年卒)	H12.8逝去
経営工学科	磯村 賢(S47年卒)	H15.8逝去
	荒川 良憲(S50年卒)	H14.10逝去

土木工学科	柘植 秀樹(S52年卒)	H13.5逝去
	友沢 義治(S56年卒)	H8逝去
	植村 謙三(S60年卒)	H4逝去
	白木 秀之(H7年卒)	H13.12逝去
	高平 陽(S44年卒)	H13.12逝去
	鈴木 裕保(S48年卒)	H15.3逝去
	修 修(S47年卒)	H14.10逝去
	國島 良夫(S50年卒)	H13.11逝去
	渡辺 晃(S53年卒)	H12.10逝去
	村上 喜彦(S53年卒)	H11.12逝去
建築学科	宇佐美 延保(S55年卒)	H15.1逝去
	高橋 英敏(S55年卒)	H13.2逝去
	田中 謙二(S57年卒)	H15.1逝去
	森 浩雅(S62年卒)	H11.4逝去
	松浦 英俊(S48年卒)	
	沼田 勉(S51年卒)	H14.8逝去
	小林 茂樹(S51年卒)	H8.12逝去
	鈴木 康之(S52年卒)	H8逝去
	杉浦 賢志(S55年卒)	H13.5逝去
	板谷 勝敏(H11年卒)	H14.9逝去

平成14年度決算書 収支計算書 平成14年4月1日から平成15年3月31日まで ~経常経費~ (単位:円)

収入の部				
科目	予算額	決算額	差異	備考
入会金(基本金)	5,000,000	5,592,000	592,000	
終身会費	25,000,000	27,960,000	2,960,000	
年会費	10,000	8,000	△2,000	
受取利息	200,000	186,234	△13,766	
雑収入	0	500	500	
名簿売却収入	0	12,000	12,000	
当期収入合計①	30,210,000	33,758,734	3,548,734	
前期繰越金②	46,282,811	46,282,811	0	
収入合計①+②	76,492,811	80,041,545	3,548,734	
支出の部				
事業費				
学科・支部援助費	2,500,000	2,403,014	96,986	
大学祭援助費	600,000	600,000	0	
会報発行費	7,000,000	7,075,518	75,518	
卒業記念品費	800,000	899,325	99,325	
準会員支援費	1,500,000	975,000	△525,000	
名簿管理・IT関連費	5,000,000	4,979,814	△20,186	
(小計)	17,400,000	16,932,671	△467,329	
事務費				
人件費	1,200,000	970,070	229,930	
消耗品費	600,000	587,496	△12,504	
会議費	2,000,000	936,780	△1,063,220	
慶弔費	400,000	319,250	△80,750	
私大同窓会連合会費	150,000	117,000	33,000	
雑費手数料	100,000	118,620	18,620	
(小計)	4,450,000	3,049,216	△1,400,784	
予備費	400,000	0	△400,000	
基本積立金へ	5,000,000	5,592,000	592,000	入会金
当期支出合計③	27,250,000	25,573,887	1,676,113	
当期収支差額④(①-③)	2,960,000	8,184,847	5,224,847	
名簿発行・40周年準備費へ⑤	3,000,000	3,000,000	0	
次期繰越金⑥(②+④-⑤)	46,242,811	51,467,658	5,224,847	
支出の部合計③+⑤+⑥	76,492,811	80,041,545	3,548,734	

平成14年度決算書 収支計算書 平成14年4月1日から平成15年3月31日まで ~基本積立金~ (単位:円)

収入の部				
科目	予算額	決算額	差異	備考
経常経費からの繰入	5,000,000	5,592,000	592,000	
前期繰越金	150,148,087	150,148,087	0	
収入の部合計	155,148,087	155,740,087	592,000	

支出の部				
科目	予算額	決算額	差異	備考
次期繰越金	155,148,087	155,740,087	592,000	
支出の部合計	155,148,087	155,740,087	592,000	

平成14年度決算書 収支計算書 平成14年4月1日から平成15年3月31日まで ~名簿発行・40周年準備金~ (単位:円)

収入の部				
科目	予算額	決算額	差異	備考
経常経費からの繰入	3,000,000	3,000,000	0	
前期繰越金	5,000,000	5,000,000	0	
収入の部合計	8,000,000	8,000,000	0	

支出の部				
科目	予算額	決算額	差異	備考
次期繰越金	8,000,000	8,000,000	0	
支出の部合計	8,000,000	8,000,000	0	

次期繰越額	
内訳明細	金額
基本積立金	155,740,087
経常経費	51,467,658
名簿発行・40周年準備金	8,000,000
合計	215,207,745